公益財団法人 認知症予防財団のご案内

■設立の経緯

1990年4月、毎日新聞の創刊120年記念事業として設立された「ぼけ予防協会」を前身としています。経済団体連合会（現・日本経済団体連合会）の協力を得て、初代会長には当時の齋藤英四郎・経団連会長に就任していただきました。2010年に公益財団法人へ移行し、その直前に名称も「認知症予防財団」に改めました。現会長は新井平伊・順天堂大名誉教授です。

■おもな活動

① 無料の電話相談「認知症110番」

「相談者に寄り添う」をモットーに、24名の経験豊かな相談員が対応しています。1992年にスタートし、2022年に創設30年を迎えました。通算の相談件数は3万件を超えています。厚生労働省の後援を受けています。

「認知症110番」0120-65-4874（ろうご・しんぱいなし）
月・木曜10時～15時（月曜が祝日の場合、原則火曜日）

② 機関紙「新時代」の発刊

奇数月に隔月で発刊しています。認知症治療の最前線、望ましいケアのあり方など認知症、介護に関わるニュース、話題を満載しています。記事の一部は当財団のウェブページ
https://www.mainichi.co.jp/ninchishou/
にアップしています。

③ シンポジウムなどの啓発事業

「認知症と介護保険」「認知症の早期発見と予防の意義」などのテーマで、これまでシンポジウムを75回開催しました。「認知症30カ条」「認知症ハンドブック」などの書物も発行しています。公益社団法人「認知症の人と家族の会」と連携し、望ましいケアのあり方などを発信しています。

④ 調査・研究事業

「自治体の要介護予防対策の課題解明と提言」「高齢者における歯の欠損歯周病と認知症に関する調査」「認知症のBPSDに対する医療と介護の実態調査」「ライフレビュー（回想法）レクリエーションの効果に関する調査研究」など数多くの調査を、各分野の専門家の協力を得て実施してき

⑤ 収益事業

2023年より認知症予防について的確なアドバイスをできる人材の育成に向け、新たな資格「生涯健脳検定」の運営を始めました。資格は初級の「健脳相談士」と上級の「健脳指導士」の2つです。

■公益財団法人 認知症予防財団 役員名簿

【理事・監事】

理事長（代表理事）	松木　健	毎日新聞社代表取締役会長
常務理事（代表理事）	吉田 啓志	認知症予防財団事務局長兼務
理事	朝田　隆	筑波大学名誉教授
理事	新井 平伊	順天堂大学名誉教授（財団会長）
理事	小川 直宏	アジア開発銀行研究所客員研究員
理事	長田 久雄	桜美林学園顧問
監事	立川 剛人	毎日新聞社執行役員
監事（外部）	佐野 幸雄	佐野幸雄税理士事務所

【評議員】

奥山 恵理子	浜松人間科学研究所代表取締役
小野 賢二郎	金沢大学医学部教授
木戸　哲	毎日新聞社執行役員
繁田 雅弘	東京慈恵会医科大学名誉教授
鈴木 みずえ	静岡県立大学看護学部特任教授
中村 雅浩	中村コンサルティングオフィス所長
渡邉　誠	東北大学名誉教授

（2026年6月30日現在）

■連絡先「公益財団法人 認知症予防財団」 https://www.mainichi.co.jp/ninchishou/
〒100-8051 東京都千代田区一ツ橋1－1－1 毎日新聞東京本社3階
☎03-3216-4409 ／ ファクス：03-3216-3620 ✉ fpd@mainichi.co.jp

ホームページにアクセス！